

標 題	新技術で圃場排水性を大幅に改善！ ～県内初「放射状穿孔暗渠」で飼料作物の増収を実証～
------------	--

(ダイジェスト)

当管内には飼料作物の栽培に適さない排水不良水田が多いことから、農機メーカーが開発した穿孔暗渠機「カットドレーン」を用いて、排水対策の実証ほを設置し、その効果判定を行いました。その結果、栽培作物であるソルゴの1, 2番草合計の生草収量が、排水対策を実施していないほ場と比較して1.5倍の増収となりました。

管内では、ほ場の排水性が悪いために、米以外の作物を作付しても十分な収量が確保できないケースが多数あります。

そこで、今年度、農業技術センター及び農機メーカーと連携して、出雲市の(農)船津営農組合に放射状穿孔暗渠の実証ほ場を設置しました。

この技術は、穿孔暗渠機により、ほ場地下部40cm～70cmの深さに放射線状に通水空洞を形成し、同時に耕盤破碎を行い、排水性を高めます。

実証の結果、1時間当たり9mmの最大降水量を確認した日(6月24日)には1分間6リットルの排水があるなど、目視でも排水効果が確認されました。

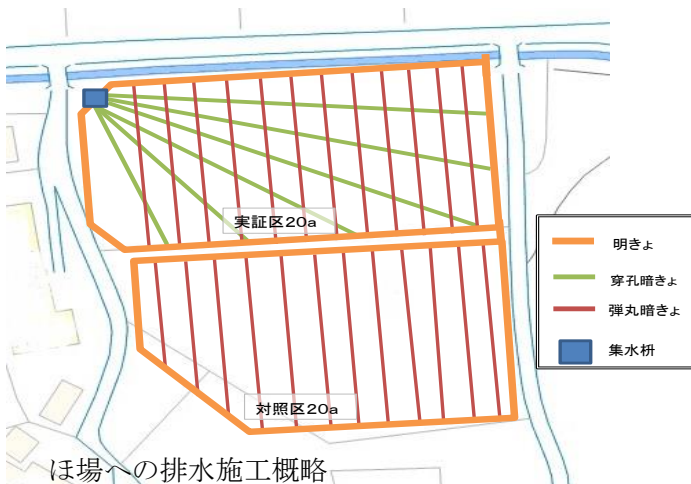
また、栽培作物ソルゴの収量は、実証区で5,444kgと対象区の1.5倍となりました。

このことから、穿孔暗渠を、既存技術である明渠、弾丸暗渠と組み合わせることにより高い有効性が認められました。

今後は、排水不良ほ場における効果的な対策として、関係機関と連携し、普及拡大に向けた検討をしていきたいと思っております。



穿孔暗渠を作るためのカットドレーン



ほ場への排水施工概略

収量調査結果

時期	区	坪刈りによる生草収量(kg/10a)
1番草収穫前 (7/27)	実証区	1,969
	対照区	934
2番草収穫前 (10/11)	実証区	3,475
	対照区	2,650
計	実証区	5,444
	対照区	3,584